

動物実験に関する自己点検・評価報告書

佐賀大学

令和2年9月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学動物実験安全管理規則、佐賀大学動物実験安全管理細則 佐賀大学動物実験の教育訓練についての申合せ、佐賀大学以外の機関において動物実験等を実施する場合の申合せ、組織体制図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、佐賀大学動物実験安全管理規則、同細則等が定められている。しかし、基本指針に示される3種のカテゴリーの委員会構成が規則からは読み取れない。また、飼養保管基準に示される人と動物の共通感染症に係る知識の習得等に関して明記されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 令和2年度中に規則および細則の改定を行う。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学動物実験安全管理規則 令和元年度動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合した動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 基本指針で求められる3種のカテゴリーの委員がふくまれるように配慮されているが、規則に明確な記載がない。委員会構成要件を明確にするよう、規則の改正を令和2年度中に行う。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 □ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学動物実験安全管理規則、佐賀大学動物実験安全管理細則 佐賀大学動物実験の教育訓練についての申合せ、佐賀大学以外の機関において動物実験等を実施する場合の申合せ 動物実験計画書様式、動物実験経過・結果報告書様式、飼養保管施設設置申請書様式、動物実験室設置申請書様式、施設等廃止届様式、動物実験審査結果通知書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程等に基づき動物実験に必要な動物実験安全管理規則等および各種様式等が定められており、審査、承認、結果報告等の実施体制が整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学遺伝子組換え実験安全管理規則、佐賀大学遺伝子組換え実験安全管理細則および関連様式 佐賀大学放射性同位元素等安全管理規則、佐賀大学鍋島地区放射線障害予防規程 佐賀大学病原体等安全管理規則、佐賀大学病原体等安全管理細則および関連様式 向精神薬試験研究施設設置者登録証、麻薬研究者免許書（該当者）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 令和元年度は、遺伝子組換え動物を用いる実験、放射性物質の投与動物実験および病原体の感染動物実験が実施された。遺伝子組換え動物実験、放射性同位元素等の取り扱い、感染動物実験については機関内規則等が適正に定められており、動物実験の実施に関連する様式や手続きが整備されている。また、麻薬・向精神薬の使用について行政への手続きが行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 佐賀大学動物実験安全管理規則、佐賀大学動物実験安全管理細則 飼養保管施設設置承認申請書、調査報告書、承認等通知書 飼養保管施設・実験室一覧 飼養保管マニュアル、動物飼育記録、鶏の飼育管理マニュアル、事故等対応記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。また、各飼養保管施設においては、実験動物管理者が置かれており、飼養保管基準に沿った飼養保管マニュアル等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 各飼養保管施設でマニュアルは作成されているが、近年、改訂等を行われていないようである。適正な飼養保管体制の維持・改善のため、定期的な見直しと必要であれば改訂を行うように指導を行う。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会記録、専門委員会記録 動物実験計画書、審査結果通知書 動物実験結果報告一覧、動物実験結果報告書、動物実験経過報告一覧、動物実験経過報告書 実験室設置承認申請書、調査報告書、調査結果及び承認通知書 飼養保管施設の管理状況調査表 教育訓練実施記録

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>佐賀大学動物実験安全管理規則等に基づいて、学長の諮問機関として委員会を開催し、動物実験委員会は、動物実験計画書の審査、実験室の調査、改善の助言、教育訓練の実施等に関して審議した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験計画書、動物実験委員会記録、審査結果通知書</p> <p>動物実験結果報告書、動物実験経過報告書</p> <p>動物実験の自己点検票（様式2-1）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書を審査し、学長の承認を得ると共に、動物実験経過・結果報告書と動物実験自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。令和元年度に終了したすべての実験について、「動物実験結果報告書」及び「動物実験の自己点検票」が提出されている。経過報告書も該当する実験計画についてはすべて提出されている（令和2年7月現在）。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>事故等対応記録</p> <p>飼養保管施設設置承認申請、調査報告書</p> <p>実験室設置承認申請書、調査報告書</p> <p>飼養保管施設の管理状況調査表</p> <p>動物実験計画書、動物実験結果報告書、動物実験経過報告書</p> <p>向精神薬試験研究施設設置者登録証、麻薬研究者免許書（該当者）</p>

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

必要な安全設備が整備されている。事務局は、関連する他の学内委員会とも連携をとり、適切な実施体制の下に動物実験が適正に実施されていると考えられる。令和元年度は、遺伝子組換え動物実験、病原体使用動物実験、放射線使用実験等が行われたが、事故等の報告はなかった。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

空調設備等保全業務完了報告書、保守点検記録、作業日誌、空調換気扇フィルター清掃状況
検収記録簿、検疫記録簿、入退舎記録簿、微生物検査成績書、事故等対応記録、動物飼育記録
飼養保管マニュアル、鶏の飼育管理マニュアル

実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2）

飼育施設緊急時対応マニュアル、鍋島地区動物実験施設における災害発生時対応マニュアル
改善報告書（ウサギ飼養保管状況の改善に関する報告）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

各飼養保管施設で必要な事項について飼養マニュアルを作成し、それに基づいた適正な管理がなされている。しかし、ウサギの飼養保管状況において、一部のウサギが日常的な動作を行うための空間が十分に確保できていない懸念がある（H25年度の外部評価における指摘事項）。

4) 改善の方針、達成予定時期

平成31年度国立大学法人先端研究等施設整備費補助金（事業名：国際基準対応実験動物用飼育器材一式）（文部科学省）の採択を受け、ウサギ飼育器材を国際基準（Institute for Laboratory Animal Research、ILARの指針）に対応したものに更新した（令和2年3月31日完了）。令和2年度以降は、鍋島地区動物実験施設内で飼育されるすべてのウサギについて、日常的な動作を行うための空間を十分に確保した状態での飼育に対応する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>飼養保管施設設置承認申請書、調査報告書</p> <p>実験室設置承認申請書、調査報告書</p> <p>空調設備等保全業務完了報告書、保守点検記録、作業日誌、空調換気扇フィルター清掃状況</p> <p>実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2）</p> <p>令和2年度学内営繕事業要求書</p> <p>平成31年度概算要求（設備整備費）資料等</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設の設置時に動物実験規則および細則に示された設置基準を満たしていることを委員会が確認しており、実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2）の提出によって概ね適正に維持管理されている事を把握している。飼養保管施設および実験室については、委員会による数年毎の定期的調査、視察等を行うこととしているが、令和元年度は実施しなかった（前回は平成28年度に一斉調査を実施）。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>飼養保管施設の設備更新・改修等については、必要な予算要求等を通して学内での検討が行われている。定期的調査、視察等を検討する。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験に関する教育訓練の実施通知、教育訓練資料、教育訓練 DVD、教育訓練実施記録、受講証明書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練の実施記録等によって基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。実施記録も適切に保管されている。令和元年度より、教育訓練受講に有効期限(5年)を設け、受講証明書を発行するようにした。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>DVD の視聴による教育訓練に対応しているが、教育訓練の内容は毎年見直し、内容の改善・充実を図るように務める。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p>

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験に関する自己点検・評価報告書（H19－H30年度） 動物実験に関する検証結果報告書（H25年度） 佐賀大学のウェブサイト（法定公開情報のページにおける「動物実験に関する情報」） http://www.saga-u.ac.jp/koukai/animal.html 公開項目：動物実験に関する規程等、組織体制図、外部検証の結果、自己点検評価の結果、動物実験の実施状況、動物実験委員会構成
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、佐賀大学における動物実験に関する情報公開を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

両生類等を用いる実験に関しても動物実験に準じて実験計画の審査を実施している。 （令和元年度は審査なし）
--